

討 論



日本共産党議員団

マイナンバー制度施行による条例制定と一部改正について

年金機構で膨大な個人情報や民間の顧客情報流出が問題になっている。市は情報を分散管理し対策を取るというが、情報漏えいの危険は免れない。実施しなくても市民には不利益はなく施行の延期を求めるべき。

議第12号平成27年度一般会計補正予算の小中一校校落雪防止策について

設計書通りの工事であれば融雪ヒーターは設置されていた。落雪もなかった。まず、設計変更に至る究明をすべきだ。

認定第1号平成26年度決算について

期限付任用職員報酬は、行政が率先し不安定雇用を進めるもの。スクールバスの機器は、安全対策に有効とは考えにくい。

商工会議所振興事業補助金は、商工会議所に丸投げするものだ。

さんじょう一番星育成事業はエリート養成で、自治体の仕事ではない。

第一中学校区小中一校校建設事業費は、数々の問題が噴出。無理な校舎建設であった。

国民健康保険事業特別会計は、保険税の軽減を図るべきであった。

後期高齢者医療制度特別会計は、年齢で差別し負担を強いる制度。廃止すべきと考える。

自由クラブ

議第12号平成27年度三条市一般会計補正予算に対する修正案に反対

第一中学校区小中一校校の落雪防止工事は、この定例会で予算を可決しなければ降雪前までに施工ができない。子どもたちの安全確保を最優先にすべき。

マイナンバー制度の施行による条例制定と一部改正に賛成

国は、情報を一元管理するのではなく情報ごとに分散管理し、行政間の情報のやりとりは個人番号を使わない、暗号化して通信するなどさまざまな措置を講じている。三条市は、個人情報やインターネットに接続しない運用管理を行っており外部からアクセスされることはない。

認定第1号平成26年度決算の認定について

平成26年度は、経済の回復基調が市税に反映されない中、収納率の向上や国の経済対策による交付金の活用、ふるさと三条応援寄附金の見直しなど歳入確保に取り組み、事業執行では後年度負担に配慮しつつ、浸水対策などの社会インフラ整備、地域経済の活性化に取り組み将来にわたってあり続けるよう成果を上げたものと認識する。適正に執行され、瑕疵はなく認定すべきものと考ええる。

議第12号「平成27年度三条市一般会計補正予算」に対する「修正案」に賛成

私は「安易に市民の血税を使う」「ことに警鐘を鳴らす者です。」

「第一中学校区小中一校校落雪対策工事」1490万円の補正予算に対しての反対意見です。

問題点は大きく3点

① 最大の落ち度は「責任の所在」をはつきりさせぬまま補正を通そうとすること。

② 事の本質を見極めぬまま安易に対策を講じたこと。設計、施工、発注側どこのミスなのか。児童、生徒の「安心・安全」を隠れみのに工事を強行するやり方。

③ 同じようなミスを繰り返す愚。仕事に身が入っていない「魂のこもっていない上っ面の仕事振り」だということ。

現在の教育委員会の「教育行政」は、首を傾げることがあまりにも多すぎます。三条の「教育行政」を今の為政者に任せておくことは甚だ危険です。

誤解されては困りますが児童、生徒の安心・安全は当たり前なことであり、私は工事そのものに異を唱えるものではありません。

一般質問

ダイジェスト



保内工業団地に建設予定の本質バイオマス発電所について

問 発電所建設のメリット、デメリットは。

答 メリットは、里山環境の保全、地球温暖化防止、林業の活性化、雇用の創出が図られる。デメリットは、特に想定していないが年間6万トンの未利用材等の安定的供給が必要で、その確保ができるかどうか課題である。

東三条駅改修と周辺整備について

問 東三条駅駐車場、駐輪場の確保、自由通路、周辺道路の拡幅などの周辺整備はどのように進めていくのか。

答 東三条駅周辺整備には多額な経費を要することから、財政状況やJR東日本との関係も考慮していく必要がある。本年度駅周辺の交通量あるいは利用状況などの基礎調査の結果を見極め、今後の方向性を検討したい。

第一中学校区小中一校校改修等について

問 プールの不具合が見つかったから3カ月が経過しようとしているが、原因の調査やプール授業の再開はどうなっているのか。

答 現在建設業者と協議中で、教育委員会や建築課とも協議をしている段階で、今現在再開は考えていない。

八十里越にロマンを求めて

問 八十里越には小説家、司馬遼太郎の「峠」で河井継之助の英雄ぶりが紹



八十里越5号橋梁の工事用作業橋台



介されるなど多くのロマンがあります。私は平成11年度から八十里越に関わってまいりましたが、開通まであと10年、あと10年と言われようやく5号橋梁の完成まで7年で全面開通の見通しとなりました。只見町と県境を越えて、さらに新潟市を中心とする連携中枢都市圏が形成されれば、福島県境から日本海の夕

生活習慣病予防対策について

問 データヘルス計画の取り組みで現状と課題はどうか。

答 今年3月に計画を策定し公表している。本計画および事業実施評価はデータを活用し、経年変化、国県、同規模保険者との比較、評価を行い健康課題を明確にし、次の保険事業につなげる。

問 高血圧がなぜターゲットとする疾病になったのか。

答 魅力ある八十里越が開通することによって広域エリアに波及するであろう効果に期待を寄せながら、一日も早い開通に汗をかき協力、支援をしていかなければならない。ご指摘をいただいているとおり、現実的には10年は確実に切る状況の中で具体のゴールが見えてきている状況で、引き続き八十里越の開通に向けた盛り上がりや私どももしっかりと貢献をし、ご指摘の交流人口の拡大に結び付けていきたい。

日までもつながる素晴らしい観光ルートとなり、熾烈を極めている都市間競争に打ち勝つことができると考えております。市長のご見解を承りたい。